

令和6年度 公金の保管運用実績

令和6年度の公金の保管運用実績についてお知らせします。

- 利回りは、運用収入÷年間平均残高で算出しています。
- 年間平均残高は、期間中の毎日の残高の合計÷日数（365日）で算出しています。
- 表示単位未満を切り捨てています。

1 総合会計

年間平均残高が減少したものの、預金金利の上昇を受けて運用収入は増加しました。

年度	年間平均残高	運用収入	利回り
令和6年度	72億252万円	410万8千円	0.0570%
令和5年度	94億4376万円	10万4千円	0.0011%
前年度比	△22億4124万円	400万4千円	

※総合会計：区一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、雑部金、高額療養費資金貸付基金、高額サービス費等資金貸付基金、公共料金支払基金

2 総合基金

年間平均残高が減少したものの、預金金利の上昇を受けて運用収入は増加しました。

年度	年間平均残高	運用内訳		運用収入	利回り
		預金	債券		
令和6年度	597億495万円	214億3363万円	385億9288万円	1億2999万9千円	0.218%
令和5年度	676億5934万円	306億9115万円	380億9288万円	9298万7千円	0.137%
前年度比	△79億5439万円	△92億5752万円	5億円	3701万2千円	

※総合基金：運用メリットを高めるため、15の積立基金の運用管理を一本化しています。

【令和6年度の積立基金】

財政調整基金、障害者福祉活動基金、島田育英基金、高齢者福祉活動基金、減債基金、地場産業振興小野基金、外国人留学生学習奨励基金、介護給付準備基金、義務教育施設整備等次世代育成環境整備基金、社会資本等整備基金、協働推進基金、みどり公園基金、夏目漱石記念施設整備基金、子ども未来基金、スポーツ施設整備基金（15の積立基金）

※運用内訳の預金及び債券は、各年度の3月31日時点のものです。

3 SDGs 債への投資

新宿区では、積立基金の運用を通じたSDGsの目標達成につながる社会貢献への取組として、以下のSDGs債に投資するとともに、投資表明を行っています。

<令和6年度実績>

- ソーシャルボンド：東日本高速道路株式会社社債

※SDGs債とは、グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンドなどの総称であり、環境問題や社会的課題の解決を目的に発行される債券です。